



こくろうよなご

第1号

2024年9月10日

発行責任者 倉下文明

編集 教宣部

つくろう職場に労働運動を！ ひろげよう闘いを 職場に、地域に、全国に！

構造改革の果てに職場は！

第77回定期地方大会開催

去る8月24日、米子市文化ホールにて「第77回定期地方大会」を開催しました。国労の課題と方向性、組織拡大、安全・安定輸送の確立、ローカル線廃止反対、25春闘勝利、選挙闘争勝利など、当面する運動について意思統一をさせていただきました。

定期大会は、青柳副委員長の司会ではじまり、大会の成立を宣言、議長には出雲地区分会の岡田代議員を選出しました。倉下執行委員長の挨拶（別掲）を受け、来賓の皆様より激励の挨拶を頂きました。



その後、昼食を挟んで吾郷書記長の方針提案の後、質疑に入り10名の代議員から発言がありました。吾郷書記長の集約後（別掲）、運動方針（案）を全体の拍手で採択、細田財政部長より2023年度決算、2024年度予算の提案承認の後、新役員の選出に

質疑

●木村代議員（浜田） 社会人採用者が随時、職場に配属になる。見習いを一か月するが、そのうち乗務員になるので、駅の要員は厳しく年休も取れない。益田駅では、券売機対応で苦勞をされている。窓口が無くなり超勤が増えている。日勤で8時25分から17時45分、通勤・通学に対応出来ない。学生に定期的確認をすると舌打ちをされる。モラルも悪くなっている。

機関では、役員のみならず、役員でない状況が続く。他労働組合と飲み会をした。組合の大切さを訴えていきたい。JR健保のマイナンバーカードとの紐づけについて情報が有れば教えてもらいたい。マスク配布の要求をお

●上山代議員（鳥取） 願いたい。JR電話が廃止された。介助などでの連絡がなかなか着かないこともあり、JR電話を復活させてほしい。鳥取駅から浜坂・倉吉に向け、1時間に1本は普通列車の運転が必要だ。

●大石代議員（浜田） 東日本会社では、みどりの窓口閉鎖を凍結している。西日本会社も考え直すべきだ。187系車両の冷房

執行委員長挨拶（要旨）

2018年に本部が提起をした5年ビジョンは、全国で拡大はあっても、退職を補えるものではない。これを補えるように問題の先送りや許される状況ではなく、今後の組織の在り方について知恵を出し合い考えていきたい。

今年、福知山線事故から19年、伯備線触車事故から18年となる。グループ会社社員の労災死亡事故など、安全も道半ばである。安全の基盤は、安心して働きつづられる職場環境にある。若年層を中心に離職が増えている。また、職場で多くなった女性の労働環境の改善も急務の課題だ。団体交渉と職場の闘いを車の両輪として取り組む。

来賓の皆さま

- 立憲民主党鳥取県連合 湯原 俊二 様
- 立憲民主党島根県連合 亀井亜紀子 様
- 労福協鳥取県協議会 重村 和光 様
- 中国労働金庫 西山 恵子 様
- こくみん共済COOP 久保 敦 様
- 国労議員団 植田 好雄 様
- 国労西日本本部 大北 真也 様

故障による払い戻しが結構あり、対策が必要だ。益田駅での乗り換え時分3分では、高齢者や大きな荷物を抱えるインバウンドの人にとっては、結構きつい。余裕ある接続時間を設定してほしい。入社して49年、在職50年目指して頑張る。

●松村代議員（浜田） メンテックに出向し、今年で4年、120系の給油・清掃をしている。中間駅の清掃が、6月にJRの直営となった。メンテックも人手不足が続いている。ほとんどが60歳代で係長も担

いる。今後も、各自治体との意見交換や地域における宣伝活動を強化する中で、一人でも多くの人にローカル線をはじめとした公共交通の現状や課題について関心をもってもらいたいことが大切だ。9月の自民党総裁選後の解散総選挙もあり得る。国民本位の政治の実現を目指して、国政・地方と推薦候補の当選に向け全力で奮闘して行く事とする。





務に入る。

猛暑で勤務が3〜4日続くと体力的にきつい。一日の休みでは疲れが取れないが、年休も出にくい。空調服が支給されているが、バッテリーは重たく、音もする

ためつける人はいない。中間駅のホームの待合やトイレが撤去されている。サービスマンが足りず、休みも出ない。自分の仕事で精一杯という状況が作られている。

●吉田代議員(米子) 車掌区の将来展望はどうなっているのか。187系のワンマン化の話や岡山車掌区への集約の噂など流れている。

187系の冷房の効きが弱く、熱中症の恐れがある。対策としてカーテンを引いているが、車窓から外が見えない列車というのはどうか。

育児休暇なども続き、いつも要員が足りない状態。コロナ対策として、マスクの支給をお願いしたい。

●千葉代議員(米子) 根雨駅に遠隔MVが入るといふ事で配線など視察に来た。みどりの窓口を残してもらいたい。

盆輸送期間だけ旧型やくも車両が使用されているが、多客期にも対応出来る様に新型やくも車両を増やしてもらいたい。

倒木、落石、動物との接触等で度々列車が遅れ対応に苦慮している。しっかりと対策をお願いしたい。

●石田代議員(米子) この半年で社会人採用者が10人配属となった。配属後すぐ、マルスを扱い、本務に入って間もない人が教えているが大丈夫かと思う。技術継承をきちんと考えていると思えない。

●大下代議員(出雲) みどりの券売機に長い時間並ぶと熱中症の恐れがある。何か対策が必要ではないか。お客さんからは、みどりの窓口の復活を言われている。毎年退職者が出ている。要員が足りず、休みも出ない。自分の仕事で精一杯という状況が作られている。

やくもの切符購入が発車間に間に合わなければ車内では、立ちっぱなしとなりかねない。

藤原代議員(出雲) シニアのハーフ勤務となった。ハーフは人工的にはどのような計算となるのか。遠隔MVの係員による前面操作をしても、指定席が購入できるのは発車時刻の5分前まで。もう少し発車直前まで購入出来るようにしてはどうか。

●渡邊代議員(米子) 信号も若手が3名いるが、シニア・グラウンドシニア社員がおおく、これからの技術継承が課題だ。

みどりの券売機のオペレーターへの対応時間の変更について、呼び出し回数などデータを見ながら交渉して来た。サービスの低下は明らかであり、苦情などあれば本部に挙げてもらいたい。

切符購入者の熱中症対策として、スポットクーラーの設置や窓口の復活など対応が必要だと考えている。

●業務部長答弁 乗務員の総合運転所化が提案されており、9月に交渉していききたい。根雨駅のMV設置の話については、状況把握を行う。

人口減少による労働力不足の中、会社は採用に努力をしていると言うが、しわ寄せを受けるのは現場であり、要員確保など含めて改善の取組みを強化していきたい。

社会民主党鳥取県連合 中島ちから 様

日本共産党鳥取県委員会 岩永 尚之 様

日本共産党島根県委員会 上代 善雄 様

鳥取県議会議員 坂野経三郎 様

島根県議会議員 浜田 妙子 様

村山 泰三 様

角 智子 様

須山 隆 様

小川 稔宏 様

メッセージのご紹介

大森 英一 様

内田 智己 様

乃木 映行 様

吉本 徳生 様

下村 浩司 様

私鉄バス・ハイタク 吉本 徳生 様

国労北陸地方本部 藤野 能章 様

国労近畿地方本部 山本 泰光 様

国労岡山地方本部 小林 靖浩 様

国労広島地方本部 佐々木 隆一 様

鉄道退職者の会 国尾 順一 様

しながら進めていきたい。平和と民主主義擁護に向け、当面する選挙闘争にも全力で取り組む。次期衆議院選挙、来年の参議院選挙では、立憲民主党を支持すると同時に、野党共闘の前進に向け奮闘して行く結を述べ集約とする。

新役員の皆さん

執行委員長

倉下文明

執行副委員長

青柳利寿

書記長

吾郷隆志

執行委員

細田 浩

会計監査員

中原昭彦

会計監査員

藤原輝明

書記長集約(要旨)

10名の代議員から発言を頂いた。JR西日本グループでは、「鉄道安全考動計画2027」の目標として「お客様が死傷する列車事故を発生させない」「死亡に至る鉄道労災を発生させない」を掲げ1年が経過した。しかし、昨年の初年度において関連会社に於いて「感電死亡労災」「触車死亡労災」が発生している。

日々の仕事をこなすのに精一杯の職場環境となり仕事に余裕が持てない状況となつてないか。自分の職場状況を振り返り、一緒に働

く仲間の声を聴く中で、改善につなげて行く取り組みが重要だ。

労働協約改訂交渉に向け、米子地本からは28項目を、西日本全体では、125項目に及ぶ要求を提出して来た。既に1回目の交渉を終え、9月5日に2回目も交渉となるが、要求の前進目指してしっかりと取り組んで行きたい。

24春闘での賃上げの流れを継続し、25春闘における賃金の「底上げ・底支え」「格差是正」を進めて行かなければならない。

JR内外の仲間と共に闘う25春闘の構築に向け奮闘していく。賃金アンケート・討論集会など精一杯の取組みを要請したい。

